

Ver.2.10 バージョンアップ情報(2026/3)

MEMOREAD(ver.2.10)の主な変更点は以下のとおりです。
詳細は次項をご参照ください。

■新機能一覧(追加・変更された機能は以下の通りです)

点群処理

- 座標の反転機能に $X \leftrightarrow Z$ 、 $Y \leftrightarrow Z$ を追加
- 座標の点サイズを追加
- 「地表面抽出」を「表面抽出」に文言変更
- 受光強度表示表現方法追加
- ランダムデータ合成(橋梁トンネル用)処理を高速化

3D モデル作成

- XYZ 重複点チェックで TIN(三角網)がある場合は TIN(三角網)を残すように変更

■修正

オプション

差分解析

- 出幅表示の不具合を修正

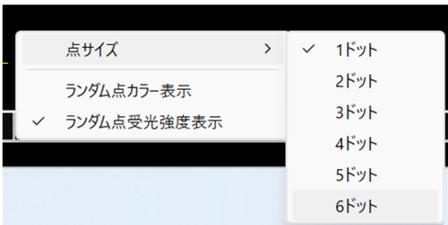
■新機能詳細

点群処理

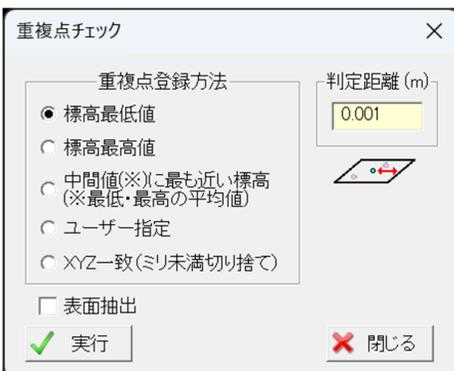
- 座標の反転機能に $X \leftrightarrow Z$ 、 $Y \leftrightarrow Z$ を追加（「点編集」メニュー>「反転」）
従来の $X \leftrightarrow Y$ の他、 $X \leftrightarrow Z$ 、 $Y \leftrightarrow Z$ の座標変換に対応しました。



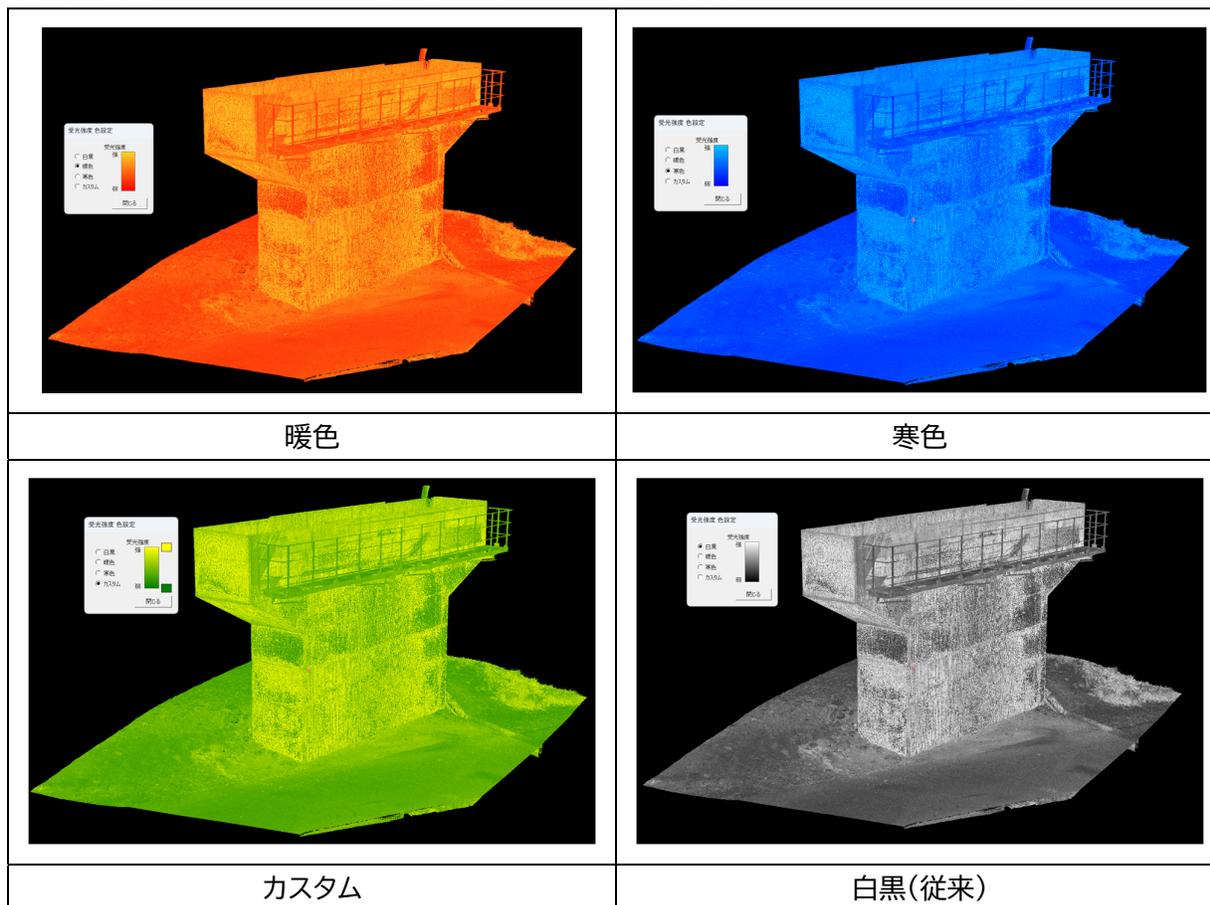
- 座標の点サイズを追加（画面下部ツールバー>「座標」プルダウン）
点サイズに「5 ドット」「6 ドット」を追加しました。



- 「地表面抽出」を「表面抽出」に文言変更
（「重複点チェック」>「XYZ一致(ミリ未満切り捨て)」>「実行」）



- 受光強度表示に表現方法追加(「表示」メニュー>「表示設定」>「ランダム点受光強度表示」)
従来の白黒グラデーションの他、暖色・寒色・カスタムが選択できるようになりました。



- ランダムデータ合成(橋梁トンネル用)処理を高速化
(「ファイル」メニュー>「ランダムデータ合成(橋梁トンネル用)」)
・合成する RND ファイルの読み込みを高速化しました。

3D モデル作成

- XYZ 重複点チェックで TIN(三角網)がある場合は TIN(三角網)を残すように変更

(「重複点チェック」>「XYZ 一致(ミリ未満切り捨て)」>「実行」)

- ・従来は XYZ 重複点チェックで重複点がある場合、三角網を削除していましたが、残すように変更しました。併せて、点が重なり TIN(三角網)が二重になっている部分があれば、重複点と三角網を削除し、三角網を 1 つだけ残すようにしました。

【改善されること】

- ・TIN (三角網)が二重になっていないかチェックが可能になりました。
- ・計算機能(精密網体積計算など)のエラーを防ぎます。

■その他

- 点名が点群の後ろに隠れるバグを修正
- Ryzen CPU のパソコンで GL をオンにすると残像が残る不具合を修正
- 重複点 XYZ ✓終了時に選択フラグがクリアされない不具合を修正
- 「社名」と「ロゴ」を株式会社アイ・エス・ピーから株式会社土木管理総合試験所に変更